

# 浦安とみおか川柳会

## 三月例会結果

日時： 令和4年3月8日(火)  
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、  
 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、  
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳、  
 大西旅人  
 講師： 佐藤青樹

課題「醍醐味」互選 講評\*佐藤青樹

点数

11 町工場NASSAからネジの注文書 裕子

6 少子化へ待ったを掛ける子沢山 順

5 食卓に笑顔咲かせる母の味 裕子

4 山海の四季を味わう和食膳 裕子

3 パラ選手不全ものとも金メダル しだれ

へボ将棋大手飛車取り勝ち取った 智

富士登山山頂で見るご来光 勝

シニプールを描きアルプス謳歌する 和昭

大汗をかいて小物を釣り上げる 旅人

我流レシピ怪しきを食べる醍醐味 旅人

句意は分かりますが。六、八、四の破調句か  
 参考：我流レシピ家族旨いと褒めてくれ

2 どん底で目指す醍醐味こなし生く 昇柳

婚活でランク下げずにゲットする 智

負け続け最終レース万馬券 勝

振り切って一人で回るホームラン 智

元カレを見返してやる整形後 順

1 逆らわず醍醐味目指し生く生きる 昇柳

古都の旅京懐石に舌鼓 勝

清水の舞台で見得を切るニキビ 和昭

日溜まりで寛ぐ老いの丸い背 みちえ

地獄から目指す極楽醍醐味や 昇柳

下五の「や」は文語では。  
 ・季語切れ字文語で自然読む俳句  
 ・川柳は穿ち口語で人を詠み  
 川柳の参考書に「口語と文語の混用はいけません」とある  
 参考：極楽へ行くと閻魔に仕分けされ

課題「ライバル」二人選 森山裕子選

秀	あの店の値を見てうちの値札換え コンビニとおにぎり競う母の味 ライバルのおかげ生まれる新記録 ライバルのハグが嬉しい優勝旗 同期との出世競争共倒れ ライバルの背中を追って天目差す 恋敵キューピッドの矢奪い合う 賞賛も本心どこか隠してる ぶつかり合う塩と砂糖の匙加減 ライバルの君に上げたい感謝状 四回転自分相手にネジを巻く 老人と獣が競う過疎の村 張り合うも絆を繋ぐ好敵手 ライバルはロボットだった派遣切り ライバルが僕のやる気に火をつける ライバルと切磋琢磨の新記録	旅人 順 旅人 みちえ 勝 昇柳 和昭 しだれ 順 みちえ 和昭 順 和昭
客	筆無精ビデオに残す遺言書 世界の目裸の王に注がれる 入浴剤入れたお風呂で旅気分 プーチンの狂気まざまざ核脅し クロネコが届けてくれる海の幸 献立へ今日もスマホとタッグ組む 追伸に女心のありったけ	勝 裕子 みちえ しだれ 裕子 みちえ ひかる
自由吟・塩見和昭選		

課題「ライバル」二人選 大西旅人選

秀	同期からライバル意識退社まで 競い合い切磋琢磨の趣味の友 今よりも白鵬時代燃えていた 友達がやがてライバル競う仲 賞賛も本心どこか隠してる 恋敵キューピッドの矢奪い合う ライバルはロボットだった派遣切り 老人と獣が競う過疎の村 ライバルが僕のやる気に火をつける ライバルのハグが嬉しい優勝旗 ライバルの君に上げたい感謝状 ライバルと切磋琢磨の新記録 張り合うも絆を繋ぐ好敵手 あの店の値を見てうちの値札換え こいつとは張り合ったぜと通夜に出る ライバルのおかげ生まれる新記録	智 みちえ 勝 智 しだれ 和昭 裕子 順 裕子 みちえ みちえ 裕子 和昭
客	話せない事情日記に閉じ込める 処方箋死んでいいとは医者言わず 虐待を隠し親権主張する 老骨に昭和の歌が響き合う シャンプーの香りほのかに明けのレジ 自叙伝のどこを読んでも自画自賛 むくわれぬ努力もあると飛び続け 二センチのニュース見ている北の雪 ドーピング折れた心で舞うリンク	順 旅人 順 勝 宣子 順

例会のお知らせ	日時	令和4年5月10日(火) 13:00~16:00
	場所	富岡公民館
課題	「ばれる」互選	:3句
	「底力」二人選	:3句
	自由吟	:3句
	「犬吠」3月号	掲載会員句
		コロナ去り密を喜ぶ時を待つ(勝) 身の丈に合った暮らしを謳歌する(みちえ) オリ・パラの選手が背負う後遺症(昇柳) 多機能に嗤われているメカ音痴(裕子) 足すくむ老いという名の未知の旅(和昭) コロナ禍の左手辛い招き猫(順)

# 川柳いろいろ

## 題のとらえ方・句のまとめ方

森羅万象・諸事百般すべて川柳の素材となる

第一 課題について必ず辞書で調べること。

例えば、「仔細」辞書では、①込み入ったこと

②事のわけ③これこれと言いつて立てるほどの事情

その解釈をヒントに二句や三句は出来る。

第二 課題を多角的な視野からとらえること

仮に「夢」：夢と関係のある言葉、事柄を考え

夢占い、正夢、逆夢、初夢、夢遊病、夢精、夢心地

このような視点で題を眺め句にしていく。

例「雪」 牡丹雪、細雪、雪明り、カマクラ

・来ないとも来るとも思う細雪

・宿までを互いにかばう雪明り

・不揃いな雪を降らせる村芝居

・雪ん子の唄かまくらに火が灯り

第三 題を詠み込む場合・入れない場合

関東では題を詠み込まずに題を浮かび上がらせるのが

句主の手柄と言われている。関東の川柳の起源を

前句付け」と位置付けているためと思われる。

例「無茶苦茶」・酒乱とは聞いていた指の傷をなめ

・無免許で轢いて酔ってて未成年

・生んだのが悪いと親へ盾をつき

・唾然と空巢の去った部屋に立ち

第四 同じ課題で詠込句（下段）入れない句（上段）

例「新品」

・新品の角帽車内の目を感じ

・お神楽の出を待つ足袋を履きおろし

例「前衛派」

・前衛という活花へ息が切れ

・勅使河原くず鉄めいたもの活け

第五 題を入れないと解らない場合

固有名詞のように詠み込まないと句意解らない場合

例「刑事」

・鬼刑事浴衣になって子と笑い

・スリの手を掴んで刑事笑いかけ

例「もぐら」

・失恋のもぐら地上へ身投げする

・大根にもぐらはここで突き当たり

## 問題意識を持つ（例句）

「自分の心を考える」

・節約を重ねているがケチじゃない

・自分にだんだん甘くなっている

・何不自由ないが満足していない

「自分の健康を考える」

・脳の中医学的には異常なし

・健康でなくても生きて行けそうだ

・天命に逆らいたくて竹を踏む

「自分の生き方を考える」

・人の世に転がり出て低く立つ

・ニコニコと笑っていれば生きられる

・葱刻むほどの力で足る暮らし

「自分の恋心を考える」

・ときめいてはじめて出会うような海

・理由などないわ逢いたくなっただけ

・恋心命の軸を太くする

「自分の幸せを考える」

・果てしなく続きはしない不幸せ

・そら豆をむく幸せな小半日

・幸せと思える時が幸せよ

「自分の老いを考える」

・5センチの段差を上がる杖を買う

・古希近し壁を頼りにズボン穿く

・死なないでいるのも老いのお仕事

「自分の死を考える」

・死の恐怖足を縮めて寝ていても

・献体がいい死に方を考える

・熟睡がさめぬのならばそれもいい

魅かれる作品はどんなものが多いか。

A 人間の本性を詠んだ句

B 笑いのある川柳

C 自分の環境に近い作品

D 人としてかくあるべしという作品

E ほのほの系の作品

50% 15% 9% 5% 5%

## 鑑賞 犬吠賞 平成二十四年

大賞 老沼正一

準賞 コンパスでふるさとを消す放射能

手伝いもしない娘がボランティア

新人賞 増島双雀

子の友がカレーの日には現れる

新田千寿

佳作 河野美津子

善人の見本にされてやや疲れ

齋藤キミ子

佳作 ハードルを下げて老後を闊歩する

小林洋子

佳作 方言を消して若者背伸びする

名雪凛々

この街が好きで人間らしく生きる

新谷みのり

身の丈に合った歩幅に諭される

笹野三郎

絶望を再起に変えるブルの音

小田春奈

生き上手笑いの種もそつと蒔き

高橋半眼

トリミングすると無くなる我が個性

福田岩男

貧乏に今の貧しさ笑われる

津田と志子

電動自転車乗しそう上り坂

河野美津子

白い地図持って女の旅に出る

米島暁子

プライドを捨てると骨が頼りない

福田岩男

被災地の少女ひとりでみる桜

阿部離楽数

張り紙に少し強気な箇条書き

吉野千枝子

大根の素直な白さには勝てぬ

潮田春雄

小細工の好きな貧乏神と棲む

川島よし郎

嘆くまい日本には未だ富士がある

羽生田はる

マンネリが置き忘れてる感嘆符

豊田初枝

互選句 課題 「沸く」 令和四年 四月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
鉄瓶のお茶はまったり母の味	大相撲近頃見ない布団投げ	最終回二死満塁に血が騒ぐ	サイバーの熱い視線という恐怖	春が来たざわつく心冷やす雨	浮かぬ世を美帆の快拳が浮き立たせ	間欠泉凄まじエナジわが身にも	観喜沸く夢がメダルに変わる人	寒空の花火見上げて震え止む	売り言葉ただそれだけで大喧嘩	サボタージュ気合をゆるめなまけている	沸点の違うあなたと半世紀	軽石が沸いたスベスベ足の裏	煽られてヤカン頭に湯気が立つ	グツグツグツおでんのおい独り占め	にわかファンその時々がマイブーム	四回半挑む気迫にリンク沸く	新芽出し地より湧き出す強い意志
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
			一目惚れ胸の血潮が踊り出す	冬五輪沸く場面でも冷えた顔	妄想に血が沸き上がる袋とじ	さわぎやめ生がい見つけおだやかに	ことことの小豆いきなり吹きこぼれ	応援はご法度見るだけの試合	沸点が下がり短気の虫眠る	無観客五輪に沸いたテレビ席	沸騰する心静めて剥くミカン	ときめきのリンクも凍る飛べぬ蝶	華やかな細い老梅嫉妬沸く	青春を真っ赤に染めたビートルズ	傷病の保険入金家族沸く	お茶タイムケトルの笛が呼んでいる	さわぎたいさぼりたくないボランテイヤ